

学校教育目標	『学ぼう、つながろう、やりとげる 都筑の子』 (知) 基礎・基本を身に付け興味・関心を広げ積極的に学び続ける子を育てます (徳) 礼儀や規律を重んじ、家族や友だちを大切にすることを育てます (体) 心や体の健康に関心をもち、自他の生命を大切にすることを育てます (公) 積極的に地域と関わり、横浜や都筑のまちを愛する子を育てます (開) コミュニケーション力を高め、好ましい人間関係をつくる子を育てます							
	創立 27 周年	学校長	大賀 教晶	副校長	須藤 善秀	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 3	
学校概要	児童生徒数:	475 人	主な関係校: 中川西中学校 中川西小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中川西中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈問題発見・解決能力〉 〈コミュニケーション能力〉	中川西中学校 都筑小学校 中川西小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校	つながりの中で、挨拶をしっかりし、認め合い、励まし合い、高め合い、自らの課題を見つけ、解決しようとする子 ・授業交流を通して、小中一貫カリキュラムを組織的に推進し、共通理解を深める。 ・生徒指導専任、児童支援専任との連携を強め、児童・生徒の問題行動を未然に防止する環境づくりを目指す。 ・児童・生徒の交流活動を行うことにより、小・中学校ギャップを少なくする。

中期取組目標	組織的コミュニケーションとチームワークで「誰もが安心して豊かに生活できる学校づくり」を目指します。 ・主体的に学習に取り組み、互いに学び合いながら、問題を解決していく力を育てます。(問題解決力・活用する力) ・人とのふれ合いや関わり合いを大切に教育活動を展開し、互いに認め合い思いやることのできる心を育てます。(自己肯定感) ・心身の健康のために、進んで運動したり、毎日の食事や生活習慣を大切にしたりする力を育てます。(健康体力) ・地域の特色や地域教材を生かした教育課程を工夫し、まちの「ひと・もの・こと」とつながる体験的な活動を通して、まちを大切にすることを育てます。 ・YICAを核としたコミュニケーション活動を推進し、異なる文化や考え方を尊重することができるようにします。(コミュニケーション力)
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	確かな学力	①重点研究である国語を中心に、主体的に学習に取り組む力を育む授業づくりを行う。②各教科において、相手を意識して積極的にコミュニケーションを図る学習展開を工夫する。③タブレットなどの情報機器を活用できるようにし、互いの思いや考えを伝え合う場面を設定し、主体的・協働的な学び合いのある授業を行う。④学年担任という意識で児童と向き合い、交換授業や教科を分担して指導していくことで専門性や授業力を高め、児童の学力向上を目指す。
担当	研究・人材育成	
徳	豊かな心	①意図的・計画的に「特別の教科道徳」の授業を行い、道徳的判断力、実践力を育成する。(年1回以上、授業を公開する)②他学年、他クラス、地域の人と関わる取組を計画し、思いやりのある豊かな心や人間関係づくりを推進する。③学校行事等の体験的な学習での協働的な活動を重視し、自分や友達よさに気付く場面を多く設定する。
担当	道徳推進・人権教育	
体	健やかな体	①縄跳びや長縄跳びで体力づくりの運動に年間を通して取り組む。②学校保健委員会の取り組みを通して、自分の健康を自分で作る意識を高め、健康な心と体を育む。③給食の「ばくばくだより」や学級活動の時間を使って、毎日の食事や生活習慣を大切に「食育」を進める。
担当	特色・保健安全	
公開	地域連携	①地域、おやじの会、PTA、教育ボランティアと連携した活動を計画し、体験的な教育活動を行う。②昨年度までのつながりを活かしながら、まちの「ひと・もの・こと」と積極的にかかわり問題解決的な学習(生活科、総合的な学習の時間等)が展開できる学びを推進する。③学校の教育活動の様子をHPで発信する。
担当	特色・渉外	
いじめへの対応		①「いじめは絶対に許さない」という共通理解のもと、『「いじめ」根絶！横浜メソッド』を活用しいじめの未然防止、早期発見、解決に全職員で取り組む。②アンケートやYP、教育相談を定期的実施し、児童一人一人に寄り添った児童理解をする。③いじめが起これにくい学校風土を作るために複数の目で一人の子どもの見る環境を作る。
担当	児童指導・特別支援	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンターチームの活動はメンターリーダーを中心に自主的に運営し、全教職員で支援する体制を作る。②学校運営協議会の助言や学校評価等のデータをもとに、教職員それぞれが広い視点で具体的な目標を定め、学校運営に参画する。③キャリアステージに応じた目標と具体的取組を設定(自己観察書)して公務に取り組み、教師間の連携を密にとりながら教師力の向上を目指す。④行事や業務の精選、会議の効率化、専科制や教科分担当の推進、留守番電話の設定等を行い、教師本分の仕事に集中する時間を確保する。
担当	運営・教務部	
児童生徒指導		①日常的に情報を教職員で共有し、児童の心情に寄り添った対応や支援・指導をする。②「チーム学年経営」を推進し、児童に複数の教職員が関わる体制を作り、不登校、いじめ、問題行動等の未然防止、早期発見、解決を図る。③都筑スタンダードを児童、保護者、地域に向けて発信し、根拠や視点を明確にして指導する。④児童支援専任を中心に外部機関と連携し、よりよい指導や支援を行う。
担当	児童指導・特別支援	
特別支援教育		①子どもたちの様々な不安、困り感を把握し、特別支援コーディネーターを中心に、校内委員会等で具体的な対応を考え実践する。②特別支援教育を充実し、学校全体で子ども一人一人の居場所をつくる。③ユニバーサルデザインを意識した環境づくり、わかりやすい授業づくりをする。
担当	児童指導・特別支援	
a14		c9
担当		
a15		c10
担当		